

令和4年度
第4回市政モニターアンケート
(子ども食堂等の認知度調査)

北九州市広報室広聴課

目 次

I	調査の概要	3
II	市政モニターの構成	3
III	調査結果	4
	子ども食堂について	4
	フードパントリーについて	9
IV	全体考察	10

I 調査の概要

調査対象者 市政モニター 149人
 回答者数 139人(回収率 93.3%)
 調査実施日 令和4年7月25日～令和4年8月8日
 実施方法 調査票による郵送及びインターネット調査
 調査実施課 北九州市広報室広聴課 TEL582-2527
 調査依頼課 北九州市子ども家庭局子育て支援課 TEL582-2473

II 市政モニターの構成

R4.7.25

区分	合計	男性	女性	区分	合計	男性	女性
全体	149 (100.0%)	64 (43.0%)	85 (57.0%)	区 別			
10歳代	2 (1.3%)	0 (0.0%)	2 (1.3%)	門司区	19 (12.8%)	10 (6.7%)	9 (6.0%)
20歳代	19 (12.8%)	9 (6.0%)	10 (6.7%)	小倉北区	28 (18.8%)	13 (8.7%)	15 (10.1%)
30歳代	22 (14.8%)	4 (2.7%)	18 (12.1%)	小倉南区	31 (20.8%)	12 (8.1%)	19 (12.8%)
40歳代	25 (16.8%)	11 (7.4%)	14 (9.4%)	若松区	11 (7.4%)	4 (2.7%)	7 (4.7%)
50歳代	23 (15.4%)	11 (7.4%)	12 (8.1%)	八幡東区	11 (7.4%)	4 (2.7%)	7 (4.7%)
60歳代	25 (16.8%)	13 (8.7%)	12 (8.1%)	八幡西区	37 (24.8%)	14 (9.4%)	23 (15.4%)
70歳以上	33 (22.1%)	16 (10.7%)	17 (11.4%)	戸畑区	12 (8.1%)	7 (4.7%)	5 (3.4%)

※モニター総数149名のうち郵送モニター24名、ネットモニター125名

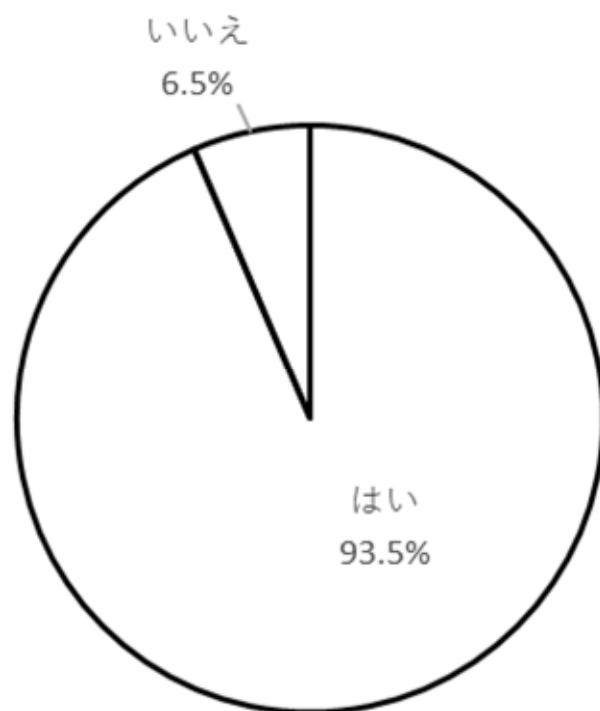
※数値の単位未満は四捨五入を原則としましたので、総数と内容の合計は、一致しない場合があります。

Ⅲ 調査結果

【子ども食堂について】

(1) 子ども食堂の認知度

子ども食堂について知っていますか？



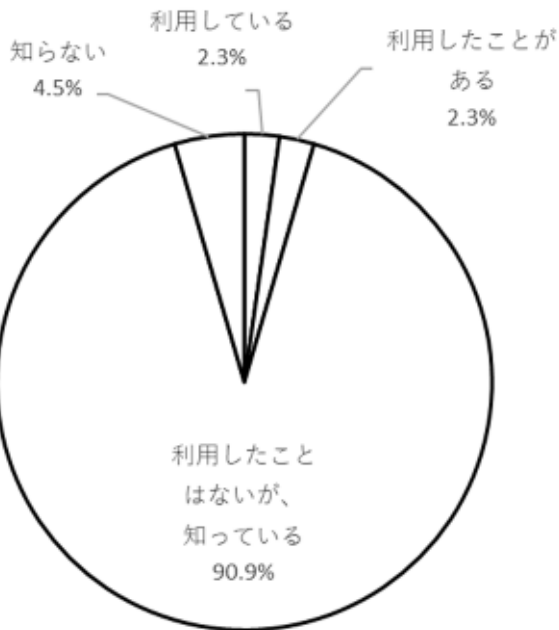
①年代別

年齢(代)	回答者数 (人)	割合 (%)			
		はい	いいえ	はい	いいえ
全体	139	130	9	93.5	6.5
10代	—	—	—	—	—
20代	13	12	1	92.3	7.7
30代	21	19	2	90.5	9.5
40代	25	22	3	88.0	12.0
50代	24	23	1	95.8	4.2
60代	23	22	1	95.7	4.3
70代	30	29	1	96.7	3.3
80代以上	3	3	0	100.0	0.0

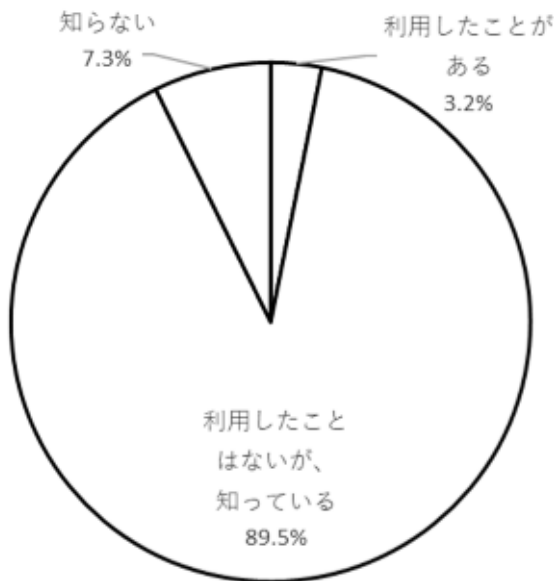
※子ども食堂を「利用している」、「利用したことがある」、「利用したことはないが、知っている」と回答した人は「はい」と数え、「知らない」と回答した人を「いいえ」と数えたもの。

②子どもの有無別

◆同居もしくは市内に20歳未満の子どもがいる人の場合



◆同居もしくは市内に20歳未満の子どもがいない人の場合

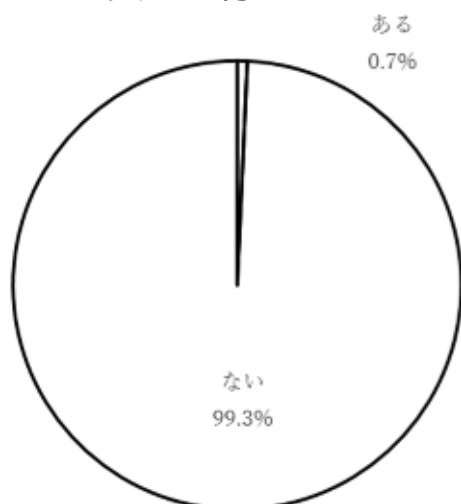


子どもがいる人※ ₁ (回答数44人)				子どもがいない人※ ₂ (回答数95人)			
利用している	利用したことがある	利用したことはないが、知っている	知らない	利用している	利用したことがある	利用したことはないが、知っている	知らない
1	1	40	2	0	3	85	7

※₁同居もしくは市内に20歳未満の子どもがいる人

※₂同居もしくは市内に20歳未満の子どもがいない人

(2)子ども食堂への参加について
子ども食堂に行ったことはありますか？

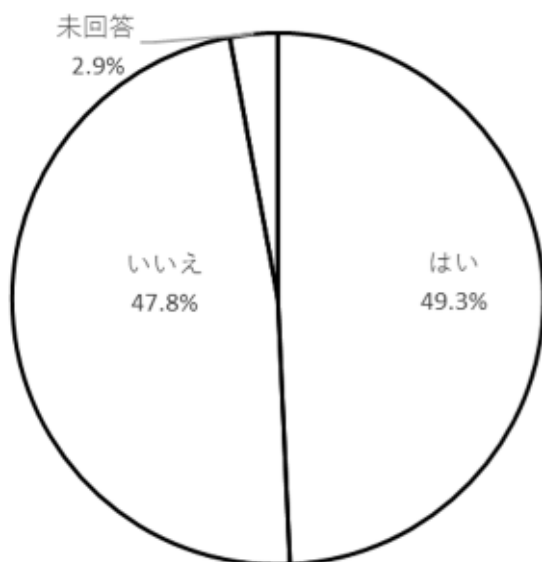


全体	ある	ない
139	1	138

(3)子ども食堂に行ってみたいと思いますか？

①年齢別

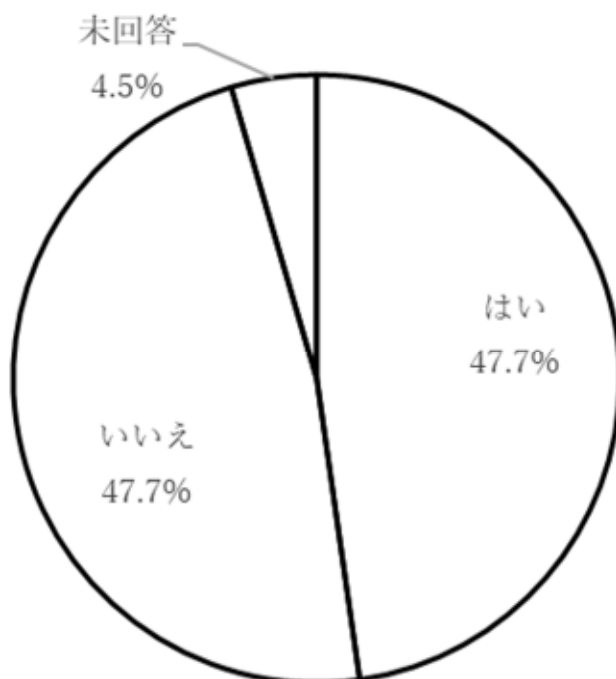
※子ども食堂に行ったことがない人を対象に質問



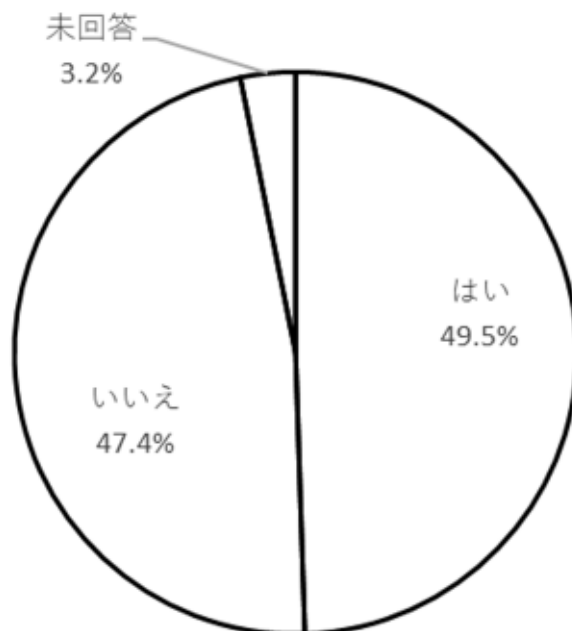
年齢(代)	回答者数 (人)	割合 (%)					
		はい	いいえ	未回答	はい	いいえ	未回答
全体	138	68	66	4	49.3	47.8	2.9
10代	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
20代	12	9	3	0	75.0	25.0	0.0
30代	21	12	8	1	57.1	38.1	4.8
40代	25	11	13	1	44.0	52.0	4.0
50代	24	12	11	1	50.0	45.8	4.2
60代	23	11	11	1	47.8	47.8	4.3
70代	30	11	19	0	36.7	63.3	0.0
80代以上	3	2	1	0	66.7	33.3	0.0

②子どもの有無別

◆同居もしくは市内に20歳未満の子どもがいる人の場合



◆同居もしくは市内に20歳未満の子どもがいない人の場合

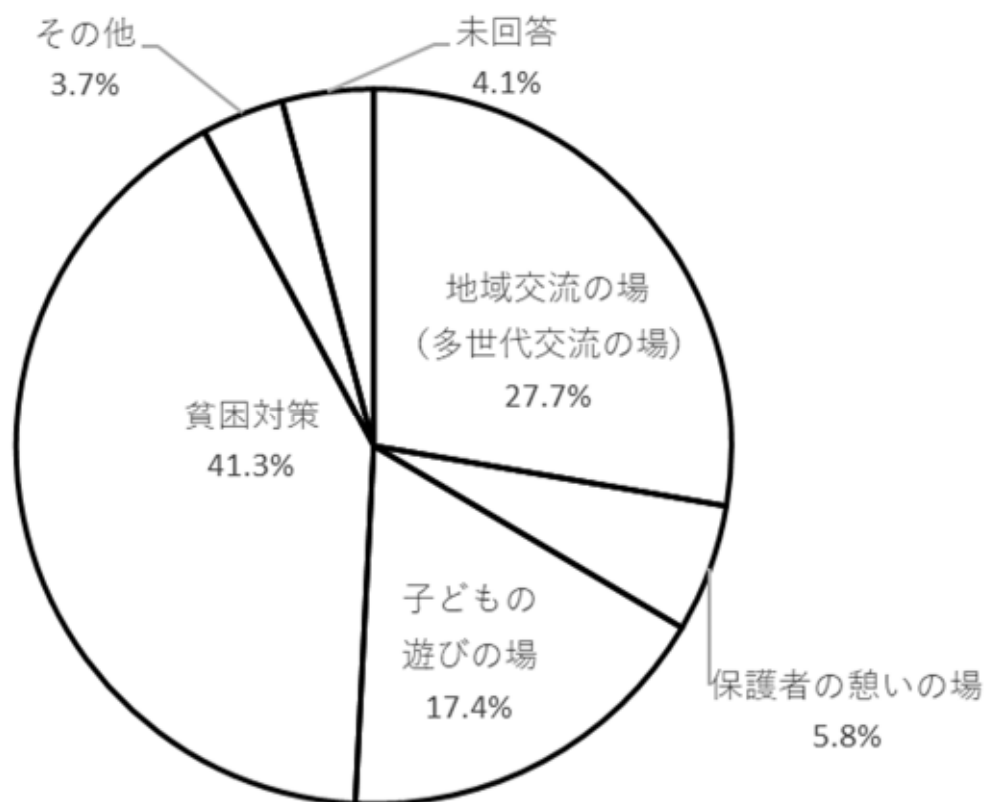


子どもがいる人※ ₁ (回答数44人)			子どもがいない人※ ₂ (回答数95人)		
はい	いいえ	未回答	はい	いいえ	未回答
21	21	2	47	45	3

※₁同居もしくは市内に20歳未満の子どもがいる人

※₂同居もしくは市内に20歳未満の子どもがいない人

(4)子ども食堂はどのようなところだと思いますか
(複数回答可能)



回答者数139人 (内回答数232件)

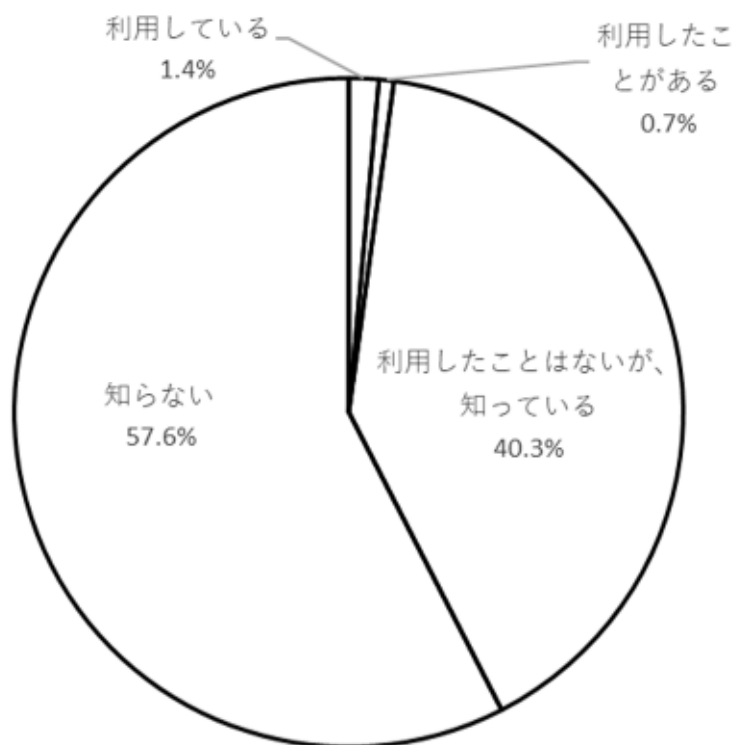
項目	回答数	割合 (%)
地域交流の場 (多世代交流の場)	67	27.7
保護者の憩いの場	14	5.8
子どもの遊びの場	42	17.4
貧困対策	100	41.3
その他	9	3.7
未回答	10	4.1

◆その他の内容・意見等(抜粋)

- ・貧困対策といっても心の貧困(孤独)と理解しています。
- ・子どもは無料で夕飯が食べられる場所、大人は希望すれば安い値段で食べられる場所。
- ・両親が夕食の用意が出来ない、仕事上帰宅時間が遅い世帯の子どもが参加する場所。
- ・地域の子供達の交流の場所として安全安心な場所。
- ・フードロス削減の場所。

【フードパントリーについて】

フードパントリーについて、知っていますか？



項目	回答者数	割合 (%)
利用している	2	1.4%
利用したことがある	1	0.7%
利用したことはないが、知っている	56	40.3%
知らない	80	57.6%
計	139	100.0%

IV全体考察

【子ども食堂について】

(1)子ども食堂の認知度

子ども食堂を知っていると回答した人は、全体の93.5%で、前年度調査での80.7%から12.8%上昇した。

また、同居または市内に20歳未満の子どもがいる人と、そうでない人の認知度の比較を行なった。子どもがいる人で、「利用している」、「利用したことがある」、「利用したことはないが、知っている」と答えた人は全体の95.5%、子どもがいない人のその割合は92.7%といずれも高く、子どもの有無に関わらず、子ども食堂の認知度が高いことが分かった。

(2)子ども食堂への興味・関心

子ども食堂に行ったことがない人の中で、子ども食堂に行ってみたいと答えた人は全体の49.3%であり、「いいえ」と答えた人の割合は、全体の47.8%だった。

また、子ども食堂に行ってみたいとの回答は、子育て世帯で47.7%、子どもがいない世帯でも49.5%となり、子ども食堂が「子どもだけの居場所では無く、多世代交流の居場所」として認識されていることが伺える。

(3)子ども食堂の役割

本市では、子ども食堂を地域の多世代交流の場と位置付け、取組みを進めているところである。子ども食堂の役割について質問したところ(複数回答方式)、「地域交流の場(多世代交流の場)」が27.7%、「保護者の憩いの場」が5.8%、「子どもの遊び場」が17.4%、「貧困対策」が41.3%となり、依然として「貧困対策」という認識が根強いものの、それを上回る割合で異なる役割の認識が持たれており、多様な役割を持つ活動であると認識されていることが分かった。

【フードパントリーについて】

フードパントリーについて、「利用している」が1.4%、「利用したことがある」が0.7%、「利用したことはないが、知っている」が40.3%であり、「知らない」と回答した人は57.6%だった。

フードパントリーは新型コロナウイルス感染症の影響で注目が集まった活動であり、令和3年度の調査では、「知らない」が40.7%だった。

この認知度の低下は、コロナ禍で活動ができていなかった子ども食堂が徐々に再開できるようになってきていることが要因であると考えられる。

今回の調査結果を参考に、本市における子ども食堂やフードパントリーの支援のあり方について検討していきたい。

【市政モニターに関すること】

北九州市広報室広聴課(Tel:582-2527)

【アンケートに関すること】

北九州市子ども家庭局子育て支援課(Tel:582-2473)